

4

わたしたちの市のうつりかわり



ア かいほつ 開発が始まる前の恵み野めく

おじいさん、おばあさんが子どものころ

あさひさんたちは、おじいさんやおばあさんが子どものころのまちの様子や暮らしについて、インタビューをしました。



おばあさんが子どものころは、
どんな暮らしだったのですか。

おかまでごはんを^{いた}たいたり、せんたく^{かし}板でおせんたくをしたり、今より家事に時間がかかっていたわ。



^{あそ}どんな遊びをしていましたか。

家の外で、めんこやかんけり、虫とりや魚つりをしましたよ。空き地も多くて、毎日外で遊んでいました。



今とはちがう遊びや、楽しみ方があったのね。

？この時間の問い

わたしたちが生まれる前
の恵庭は、どんな様子だったのだろう。

かつどう活動

むかし
昔の恵庭の様子や道具から
しらべてみたいことを考えよう。

おじいさん、おばあさん、
お父さんやお母さんに、話を
聞いてみよう。

今と昔の暮らしのちがいを考え
よう。



国 かま



国 せんたく板、たらい



国 めんこ



国 レコード



イ ^{めく の だんち} 恵み野団地ができる前の様子



ウ 今の恵み野団地の様子

わたしたちのまちや人々のくらしは、どのように変わってきたか、調べてみましょう。

あさひさんのノート

^{みなみしまつ はたけ}
・南島松の畑だったところに、
「恵み野」という新しいまちが
つくられた。



「昔のまちの様子は、今とはだいぶちがうね。どのように変わってきたのかな。」



「土地の様子、たてものの様子、交通の様子などに ^{ちゅうもく} 注目して、昔と今のちがいを考えていこう。」



「わたしたちのまちは、これからどのように変わっていくのかな。」

お父さん、お母さんが子どもころ

^{つぎ} 次に、けいたさんたちは、お父さんやお母さんが子どもころのまちの様子やくらしについて、インタビューをしたり、本を読んだりして調べました。そして、わかったことをノートにまとめました。



ク このころの家庭用ゲーム機



ケ カセットテープやCD

あさひさんのノート

・CD（コンパクトディスク）が
できて、^{きがる す} 気軽に好きな音楽が
聞けるようになった。

けいたさんのノート

^{かていよう き}
・家庭用ゲーム機ができて、
家でもゲームが楽しめる
ようになった。

学んでいこう

○昔の道具やまちの昔をさがしましょう。
○昔のくらしの様子と、今のくらしの様子を
くらべましょう。



1

かわる道具と くらし

？この時間の問い

くらしの中の道具は、どのように変わってきたのだろう。

活動

- 写真の中から、知っている道具をさがしてみよう。
- 写真を見て、気がついたことを書こう。
- 今の道具とのちがいにについて、話し合おう。

むかし

昔の道具

けいたさんたちは、古い道具の写真を見ながら、昔の人たちがどんな道具を使っていたのか、話し合いました。



「とても古い道具みたいだね。いつごろのものなのかな。」



「電気は使っていないみたいよ。今でも使えるのかしら。」



「昔の人たちは、どのように使っていたのかしら。」



「今でいうと、どんな道具やきかいにあたるのかな。」

やってみよう

見つけた道具の使い方を予想^{よそう}してみよう。



- どんなときに使う道具かな。
- どんなふうにするのかな。
- 今の道具で考えると、どんなものになるかな。

かずやさんたちは、見つけた道具について、話し合いました。



「同じ役わりをする道具をならべると、昔と今のちがいがわかるね。」



「使われなくなった道具があるね。昔の人の知恵^{ちえ}やどりよくのおかげで、くらしがべんりになってきたことを、もっとくわしく調べてみたいな。」

かずやさんたちは、道具やくらしのうつりかわりについて、さらに調べることにしました。

学んでいこう

○わたしたちが、ふだん使っている道具は、昔はどんな道具だったのか、さがしましょう。

○昔のくらしの様子^{ようす}と今のくらしの様子をくらべましょう。

みんなでつくった学習問題^{がくしゅうもんだい}

道具が変わることで、人々のくらしは、どのように変わってきたのだろう。

次につなげよう

身近な道具には、古いものと、新しいものがあるんだね。道具がちがうと、くらしの様子もちがうのかな。



ア 恵庭市郷土資料館

— ? この時間の問い — くらべてみよう、今と昔の道具 — — — — —

古い道具は、いつごろ、
どのように使われていた
のだろう。

かつどう 活動

- 昔の道具がいつ、どのように使われていたのか調べよう。
- 調べたことを絵カードにまとめよう。
- 絵カードを整理し、今の道具とのちがいをまとめよう。

めぐみさんたちは、道具のうつりかわりを調べるために、恵庭市郷土資料館に行きました。



「たくさんの道具があるわね。いつごろ使われていたのかな。」



「今の道具と、同じはたらきをするものは、どれかな。」

けいたさんたちは、郷土資料館の人に道具の名前や使い方を教えていただき、わかったことを絵カードにまとめることにしました。



がくげいいん 郷土資料館の学芸員さんの話

昔のせんたくは、せんたく板を使い、たらいの中で手であらいました。冬は水がつめたいから、手がいたくなったり、時間がかかったり、大変な仕事でした。

しゃがみながらせんたくをするので、こしがいたくなつたそうです。せんたく板は、みぞにせっけんのあわがたまつて、よごれがよく落ちるように、くふうされているのですよ。

やってみよう

絵カードのまとめ方

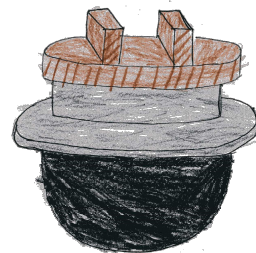
- ① 家で使っている今の道具が、昔はどんな道具だったかさがしたり、かんさつしたりしながら絵をかく。
- ② 道具の名前、道具が使われていた時期、道具の使われ方、気づいたことなどを書く。
- ③ 道具が使われていた時期は、何年ごろかわからない場合は、「おじいさん・おばあさんが子どものころ」「お父さん・お母さんが子どものころ」などをもとに分ける。

【道具の名前】

かま

【使われた時期】

江戸～昭和のはじめころ
(100年～70年前)



【メモ】

ご飯をたくときに使う。底が黒くて丸い。鉄みたいなものでできているようだ。どのくらい時間がかかるのかな。

【道具の名前】

電気すい飯器^{はんき}

【使われた時期】

お父さん、お母さんが
子どものころ
(50年～30年前)



【メモ】

スイッチをおすだけで、ご飯がたけるようになった。ずっと見ていなくてもいいので、とてもべんりになった。

【道具の名前】

I Hすい飯器

【使われた時期】

わたしたちが生まれ育
ったころ
(10年前～今)



【メモ】

コンピューターがついて、自分たちのこのみに合わせてつくれるようになった。ご飯以外の料理がえられるものもある。

かずやさんたちは、作った絵カードを古いものからならべ、うつり変わりをたしかめました。



「今は家事が楽になり、くらしがべんりになったみたいだね。」



「この道具を使っていたころの様子を、もっとくわしく調べてみたいな。」

かずやさんたちは、昔の人たちのくらしの様子のうつりかわりについて表にまとめ、調べることにしました。

キーワード

- 道具のうつりかわり

次につなげよう

同じ役わりの道具がかわることで、くらしもかわってきたんだね。道具調べカードを、年代の古い順にまとめてみよう。

年表をつくろう

道具やくらしの
うつり変わりを
年表にまとめると、
どんなことが
わかるだろう。

あさひさんたちは、昔の道具やくらしの様
子について、調べたことを順番にならべて、
年表をつくりました。



「年表は、左の方に古いことが、右の方に
新しいことが書いてあるのね。」



「絵カードもいっしょにならべると、わか
りやすいね。」

活動

今までの学習を
ふりかえろう。

年表をつくろう。

作った年表を見て、
わかったことを
話し合おう。

やってみよう

年表のつくり方

- ①年表のわくを、左はしを「100 年前」、右はしを「今」にする。
- ②絵カードなどを、あてはまる時期にはる。
- ③それぞれの時期に、調べてわかったくらしの様子などを書きこむ。

まとめる

道具が変わること
で、人々のくらしは
どのように変わって
きたのだろう。
キーワードを使っ
て、説明してみよう。



年代	100 年前	70 年前	60 年前	50 年前
	〈大正〉	〈昭和〉		
道具	おじいさん、おばあさんが子どものころ			
				
くらしの様子	 - 電化せいひんが 使われはじめる。 - 井戸からくみ上げて 水を使っていた家もあった。 - めんこやかんけりなどをして 遊んでいた。			



「年表にしてみると、道具やくらしが、
どのように変わってきたのか、よく
わかるね。」



「昔から住んでいた人たちの、どりょくや
くふうがあったから、今のくらしができて
いるのね。」

キーワード

ねんぴょう
● 年表

かいせつ

長い年月の間に起きたできごとを、
年の順にならべ
た表のこと。

まとめる

キーワードをふり返ろう 道具のうつりかわり 年表

①年表を見ながら、道具のうつりかわりやくらしの様子について、説明しましょう。

②道具やくらしが変わることで、人々のくらしはどのように変わってきたのか
考えて、ノートに書いてみましょう。

40年前	30年前	20年前	10年前	今
平成			令和	
お父さん、お母さんが子どものころ			わたしたちが生まれ育ったころ	
				
- 電化せいひんを使うのがふつうになってきた。 - ゲームなどをして遊んでいた。			- インターネットをいつでも使える。 - けいたいがたゲーム機で楽しむ。	



ア 昔の恵庭の様子《漁町市街》1951（昭和26）年ごろ

2

市のうつりかわり

かわってきたまちの様子^{ようす}

あさひさんたちは、今から70年ほど前の恵庭市の写真を見て、気がついたことを話し合いました。

？この時間の問い

むかし^{むかし}と今の恵庭のちが^{えにわ}い^{しら}を調べましょう。

かつどう活動

● まちの昔の^{しやしん}写真を見て、気がついたことを話し合おう。

● まちの様子のうつりかわりについて、ぎもんに思ったことを話し合おう。

● ^{がくしゅうけいかく}学習計画を立てよう。



「写真を見ると、^{どうろ}道路が土のままで、はばがせまいね。」



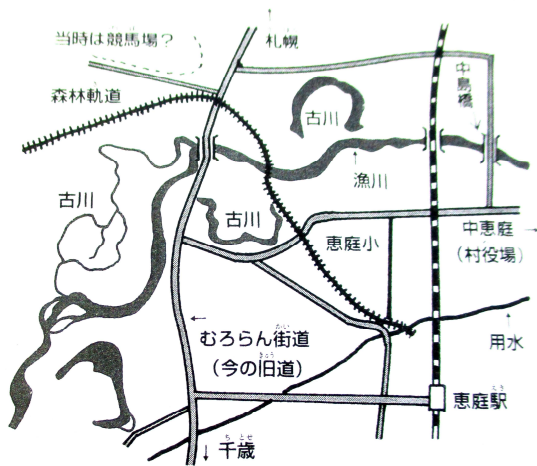
「それに、車道と歩道が分かれていないよ。」



「たてものもひくいし、今とはぜんぜんちがうまちなみだね。」



「おじいさんやおばあさんが、子どものころのまちの様子や暮らしについて、インタビューしてみよう。」



イ 恵庭村の地図 1947 (昭和22) 年ごろ



ウ こう水で水びたしになった家 1962 (昭和37) 年



「恵庭は、昔、村だったんだね。町や市へと大きくなったのは、人がたくさんふえたからなのかな。」



「人がふえると、住む場所がひつようになってくるから、土地も広がってきたのかな。」



「今とは、道路や鉄道の駅の数もちがっているわ。工場も多くなり、新産業都市になっているよ。」



「どのようにして、大きなまちへと発てんしていったか、もっとくわしく調べてみよう。」

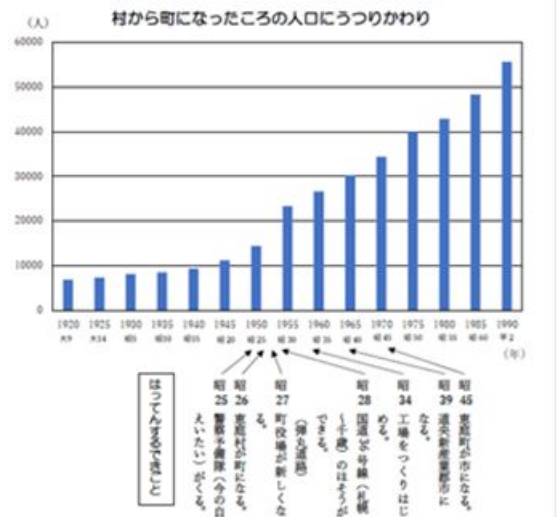
かいせつ

新産業都市
その地方の開発発てんの中心として指定された地いきのこと。

みんなでつくった学習問題

わたしたちの市は、交通や人口がどのように変わってきたのだろう。

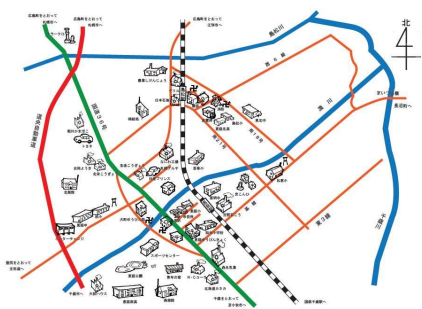
恵庭には、戦争で住むところをうしなった人たちが、たくさんうつり住んできたんだよ。
人々は、漁川のこう水とたたかいながら、一生けん命に、切り開かれていない土地を田畑にかえていったんだ。



エ 村から町になったころの人口のうつつかり

次につなげよう

学習の見通しが立ったら、まず、交通について調べてみよう。



ア 1972 (昭和47) 年

？この時間の間い

鉄道ができて、人びとのくらしや、まちのようすが、どのように変わったか、調べましょう。



イ 1998 (平成10) 年



ロ 2019 (令和元) 年

道路や鉄道のうつりかわり

あさひさんたちは、今の恵庭市の絵地図と、昔の様子えにわの絵地図をもとに、交通の広がりについて気がついたことを話し合いました。

活動

- まちの昔むかしの絵地図から、今の絵地図になるまでの様子をくらべてみよう。
- 鉄道ができる前の、交通の様子を話し合おう。
- 鉄道ができてから、かわったことを調べよう。

キーワード

● 鉄道

かいせつ

鉄道は、一度に多くの人を運ぶことができ、かんきょうにやさしい交通きかん。



「年代によって、今と様子がかなりちがうね。」



「昔の絵地図を見ると、道路も鉄道の駅も少ないわ。」



「もっと前は、どのようにくらしていたのかな。」

鉄道ができる前まで、札幌さっぽろへ行くには、歩くか、客馬車きやくに乗るしかありませんでした。

朝、早く出かけても、恵庭にもどるには、夜おそくなるか、札幌にとまらなければなりません。しかし、鉄道ができると、1時間あまりで札幌に行くことができ、その日のうちにもどれるようになり、とてもべんりになりました。



ロ 客馬車





才 ほそうになった国道 36 号 1953 (昭和 28) 年

けいたさんたちは、くらしの^{へんか}変化についても考えました。



力 ^{かいつう} 開通したところの高速道路

「鉄道や^{こうそくどうろ}高速道路ができて、遠くまで^{はや}速く行けるようになったと、おばあさんが言っていたよ。」

「交通がべんりになったから、家や店、工場もふえたのではないかな。」

「家や店がふえたということは、まち^すに住む人の数もふえたのではないかな。」

「くらしも^か変わったし、土地の^{つか}使われ方も変わったようだね。」

くらしの変化の様子

1967年 (昭和 42)	鉄道が ^{ふくせんか} 複線化される
1971年 (昭和 46)	^{どうおうじどうしゃどう} 道央自動車道が開通する
1980年 (昭和 55)	^{めぐ の だんち} 恵み野団地を売り出す
1992年 (平成 4)	図書館 ^{かん} ができる
1996年 (平成 8)	新しい国道 36 号ができる
2006年 (平成 18)	道の駅 ^{みちのえき} ができる

千 くらしの変化の様子

恵庭駅近くに住んでいたおじさんの話

^{ち とせせん}千歳線が開通して駅ができると、駅の前に^{うんそう}運送会社や、その社たく、^{りょかん}旅館がたちました。

^{しままつ}島松駅には、^{のうぎようそうこ}農業倉庫もたてられ、お店もたちました。札幌からは、その日のうちに新聞がとどけられるようになりました。

けいたさんのノート

- ・お父さんが生まれる少し前に、恵庭に高速道路が通ったそうです。札幌や^{とまこまい}苫小牧に出かけるのが、とてもべんりになったそうです。

次につなげよう

昔とくらべると、鉄道の駅がふえ、道路が市の全体^{ぜんたい}を通っているね。次は、人口^{じんこう}もふえてきたのか調べてみよう。

じんこう 人口のうつりかわり

？この時間の問い

市の人口は、
どのように変わっ
てきたのだろう。

かっとう 活動

昔からまちに住んで
いる人に、インタビュ
ーしよう。

人口のうつりかわり
を表したグラフを、
調べよう。



ア 2019（令和元）年

付録の絵地図をひら
いて大きくして見ると
いいよ。どんなことに気
がつくかな。



キーワード

●人口

かいせつ

市や都道府県、国など
その地いきに住む人の
数のこと

●ぜいきん

かいせつ

国民全員からあつめら
れるお金のこと



「恵庭全体を今の絵地図で見ると、たて
ものやしせつがふえているね。」

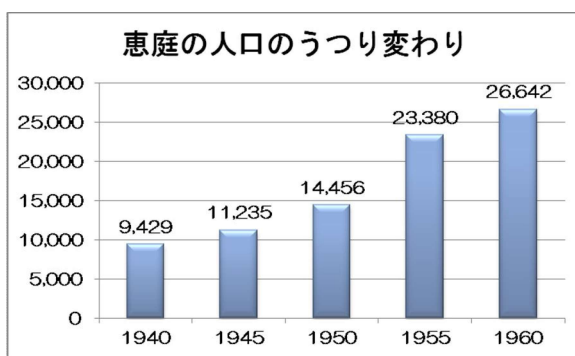
「学校や図書館もふえて、まちが広が
っているわ。」

「人口がふえたので、ひつような学校や、
図書館などの公共しせつが、新しく
つくられたんじゃないかな。」

「公共しせつをつくり、運えいするため
に、市民のみなさんのぜいきんが使わ
れていると、お母さんが言ってたわ。」



イ できたばかりの自衛隊1952（昭和27）年



ウ 自衛隊ができたころの恵庭の人口の変化

きょうど しりょうかん がくげいいん 郷土資料館の学芸員さんの話

1950（昭和25）年に、恵庭に自衛隊がおかれ、たくさんの人が住むようになって
きました。

さらに1953（昭和28）年には、国道36号がほそうされ、他のまちへの行き来が
べんりになりました。

そして、1970（昭和45）年に恵庭市となり、発てんしてきました。

けいたさんたちは、恵み野にまちがつく
られていく様子を調べました。

「住たく地になる前は、畑だった
んだね。」

「土地が広く、札幌に近い南島松
の田畑を、新しい、住みよいま
ちにつくりかえる計画が立てら
れたそうよ。」

「鉄道や高速道路ができて、恵庭か
ら他のまちに、通きん、通学、買
い物などがかんたんになれるよう
になったって、おばあさんが言っ
ていたよ。」

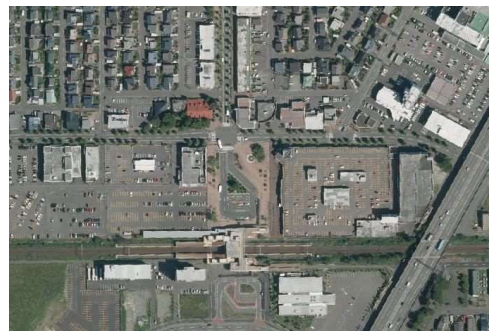
「今も、黄金の住たく地が広がり続
け、今では恵庭市に7万人の人た
ちが住んでいるんだって。」



恵み野駅のまわり 1966（昭和41）年



恵み野駅のまわり 1984（昭和59）年



恵み野駅のまわり 2019（令和元）年

計画に参加したおじさんの話

恵み野という名前は、1980（昭和55）年に、自然に恵まれた、ゆたかなまちに
なるように願ってつけられました。新しくこのまちに住む人がべんりにくらせるように、
駅やスーパー、お店、病院、学校、道路などを計画てきに考えました。また、公園や運動
場なども、たくさんつくるようにして、住む人がべんりで、楽しくくらせるまちになるこ
とを、大切に考えました。

恵み野ができてからの主なできごと

- 1980（昭和55）年 恵み野団地が売り出された。
- 1982（昭和57）年 恵み野小学校ができる。恵み野駅ができる。
- 1987（昭和62）年 人口が5万人をこえる。
- 1989（平成元）年 恵み野中学校ができる。
- 1991（平成3）年 恵み野旭小学校ができる。
- 1992（平成4）年 市立図書館ができる。
- 1993（平成5）年 人口が6万人をこえる。
- 1999（平成11）年 北海道文教大学ができる。
- 2006（平成18）年 国道36号のバイパス開通。道と川の駅ができる。
- 2019（令和元）年 人口が7万人をこえる。
- 2022（令和4）年 ガーデンフェスタ北海道2022開催
（会場 恵庭市花の拠点「はなふる」周辺）

次につなげよう

人口がふえると、学
校やいろいろなしせ
つがつくられてきた
んだね。前にまとめ
た年表に、これまで
学習してきたこと
を、書き足してみよ
う。

年表につけ足そう

?この時間の問い

まちのうつりかわりを
年表につけくわえると、
どんなことが
わかるだろう。

活動

今までの学習を
ふりかえろう。

年表につけ足そう。

できた年表を見て、
わかったことを話し
合おう。

恵庭市のできごと
をまとめるときには、
かんまつ れき し し
は、巻末の歴史資
りょう さんこう
料を参考にする
といいよ。



あさひさんたちは、これまで調^{しら}べてきた交
通^{じんこう}、土地の使われ方^{こうきよう}、人口、公共しせつについ
て、年表に恵庭市のできごとをまとめることに
しました。



「昔^{むかし}の道具^{どうぐ}調べの時にまとめた年表に、
カードを足していこう。」



「まちがどのように変^かわっていったか、
説明^{せつめい}してみよう。」

やってみよう

年表のつくり方

- ①道具で作った年表のわくの下に、調べてわかったくらしの様子や、
恵庭市のできごとを書きこむ。
- ②巻末の恵庭市の年表も見ながら、年代^{ねんだい}をたしかめて書きこむ。

年代 ^{ねんだい}	100年前	70年前	60年前	50年前
	〈大正〉	〈昭和〉		
	おじいさん、おばあさんが子どものころ			
道具				
くらしの様子		・電化^{でんか}せいひんが つか 使われはじめる。 ・井戸^{いど}からくみ上げて 水を使っていた家もあった。 ・めんこやかんけりなどをして あそ 遊んでいた。		
恵庭市のできごと	・戦争が終わり、 自衛隊^{じえいたい}が おかれる。	・国道36号^{ごう}が ほそうになり、 行き来がしやすくなる。	・恵庭に 高速道路^{こうそくどうろ}が 開通する。	



「一つの年表にまとめたことで、それぞれにつながりがあることがわかったよ。」

「これからの市は、どのように変わっていくのかな。」

まとめる



鉄道

人口

ぜいきん

- ①学習したことをふり返り、年表を見ながら、くらしのうつりかわりについて、説明しましょう。
- ②くらしが変わったのは、人々のどのような願いがあったのか考えて、ノートに書いてみましょう。
- ③これからのまちのすがたを、年表の右はしに書き足してみましょう。

40年前	30年前	20年前	10年前	今	
〈平成〉			〈令和〉		
お父さん、お母さんが子どものころ			わたしたちが生まれ育ったころ		
..... 					
• 電化せいひんを使うのがふつうになってきた。 • ゲームなどをして遊んでいた。		• インターネットをいつでもつかえる。 • けいたいがたゲーム機で楽しむ。			
• めぐみの恵み野の団地が売り出される。		• 図書館ができる。		• 道と川の駅「花ロードえにわ」がオープンする。	
• 人口が7万人をこえる。					